

令和3年5月20日

吉永地区1支部説明会（令和3年5月20日）要旨

【凡例】○は意見、質問 →は教育委員会の返答

○吉永地区で一つの中学を作る考えはなかったか。

→吉永一小だけで中学校を作ると小さい中学校が二つできるだけである。子どもたちの豊かな学びの保障にはつながらないと考える。

○両校の間に新設することはできないか。そのような考えは出なかったのか。

→今の学校区を基準として学校をどうしていくか、という考え方でやっている。新設について、検討も出てきたが、新しいところに学校を作るのは難しい。基本的には現在の学校の位置を基本として話を進めている。

○三中に編入せず、吉永第一小と東中を小中一貫校にする考えはないのか。

→小中一貫校とすると、吉永第一小から三中に進学する子どもの数が減少し、三中でも適正化について検討を進めていく必要が出てくるため、難しいという結論に至った。また現在、東中学校区では、東中、三中、吉永第一小、原田小の2中2小で小中一貫教育を実施している。4校あわせて、という考えも出てくるかと思うが、現存の施設では難しいということで、施設分離型での一貫教育を進めている。

○これからの社会を生きるには主体性が必要という話を聞いたが、まったく心に響かなかった。人数が多い三中に通わせたいほうが子どものためになるのかと考えたときに、そうではないと思った。現在の東中は人数が少ないながらも教員の目が行き届いているし、生徒全員が顔見知りである。東中の運動会を見ても団結力があるいい学校と思っている。今日の話聞いて、理由としては納得がいかなかった。人数の推移をみると急に減ることはないので本当に人数が減り、学校として成り立たなくなるときまで、何とか残していただきたい。

○吉永第一小、東中を卒業しているので、小規模の良さも承知している。ただ、いろいろな考えがある中で、編入がすべてとは思っていないが、人数が少なくなることに関するデメリットも感じている。この話が出ることで、私立中学進学も現実的な選択肢になる。人数の推移が出たがそれが理由で、私学を選ぶ人がいるのも事実である。それぞれ選択ができることがいいと思う。いろいろな話を聞いているが過去に何度もこのような話が出ているのは知っているが、今回の話が出てきて今までよりも強く出てきたと思ったが、もっといろいろできることがあるのではと思った。

○いいことだけ考えて、できないことに対する検討をせずに、何を一番に考えているのかが見えない。

→1番大事に考えているのは子どもたちの学びのことである。今まででも、地域と学校で子どもたちを育ててきたが、教育委員会としては、子どもたちの学びを第一に考えるということは変わらない。

- 令和5年から編入を考えていると聞くと、案ではなく決定事項に聞こえる。
- この提案については、編入や時期について案の段階であり、決定事項ではない。それに対してどのような意見・考えがあるか聞いていきながら、東中の課題に対して進めている最中である。決定事項ではないとご理解いただきたい。
- 1年以上前には決めたいとのことで、令和4年4月に決まっていなければ令和5年の編入はないということでもいいのか。
- 編入時期の延長について、100%ないとは言い切れない。一方でいつまでも延長はできないので、現況では令和5年と考えている。
- いつどこでどのようなメンバーで決定されるのか。決定者はだれか。我々の意見はどのように取り入れられていくか。
- 最終的には教育委員会会議にて決定する。学校の統合、編入には様々な考えがあるが、意見を交わしながら、教育委員会、市が責任をもって決めていく。一方で、いつまでも話を続けていくわけにはいかないので、仮の編入時期を提示した。1年前には子どもたちに伝えたい。
- 考える会が始まったのは令和3年と考えていいか。東中の体育館の改修時点では、話が出ていたのか。
- 体育館の改修により統合がないと思ったと意見をもらった。体育館の改修時に適正規模適正配置の考えは市になかった。体育館の耐震性を考えた際、学校の教育上、改修する必要があった。適正規模適正配置の基本方針の本格的な始まりは平成27年か28年に国から、小中学校の適正規模適正配置の指針が出てからである。その後、令和元年に適正規模適正配置の基本方針を定め、始まった。
- 考える会を実施したとあるが、結論はどうだったのか。どのような意見が多かったか。
- 考える会の意見については、結論は出していない。参加した方の意見を聞いている。参加者には保護者や地域の方もいてそれぞれが賛成反対の二択ではなく、いろいろな課題についての意見が出てきた。部活や、通学、防犯についてどうするか、という意見が出てきた。
- 考える会では、賛成反対どちらなのか。いろいろ意見が出ている中で、総論はどっちだったか。
- 総論は難しい。その場では、編入は絶対に認められないという意見はなかった。
- 考える会に地元のメンバーはいるのか。
- 考える会について、メンバーは保護者、吉永地区の方、学校の教員である。ただそれだけでは地域の意見を全部は伺うことができないのでこのような会を開催している。
- 半世紀前の話は、考える会で話題になった。その過去の経緯を考え、地区説明会や、回覧板での情報提供などいろいろな意見が出ている。考える会でもいろいろ検討しているので、考える会を悪者にしないでほしい。

○半世紀前のことは調べてあるか。

→吉原東中学校のできた経緯や、半世紀前の出来事については調べて理解している。この地域の歴史、課題は重々承知している。中学校も今まで何度も統合の話があり、その都度立ち消えになったことも知っている。今回は、全国的な少子高齢化の中で、子どもたちの学びを何とかしなければと思っているので、歴史的な背景は知っているが、子どもたちの未来、これからの子どもたちの学びを確保しなければならないと考えこのような提案をしている。

○歴史的背景のもと再度統合となると、この地区のことなので簡単にいくかどうかはわからない。別れたいきさつを考えると難しいのではと思う。

○この地区でずっと生活してきて東中を盛り上げてきた。そんな東中がなくなるのは寂しい。

○部活になると遅くなる。安全な通学路についても配慮してほしい。

→学校は完全下校時刻をその学区の広さを考えて決めている。編入後は、遠い子どもの帰る時刻やかかる時間を考えて決めるように意見をしていく。通学路の明るさ、防犯については、まちづくり協議会、警察と協力する。

○中学の存在が地域の魅力であり、引っ越してくる方もいる。しかし、中学がなくなると若い人が転入せず、少子高齢化が進行すると予測できるが、教育委員会以外の市の組織と話し合い等をしているのか。

→今回の基本方針については富士市教育委員会以外の部署にも話をしたり、調整したりしながら、いろいろな形で話を進めている。

○若い人が増えていかず、地域防災は成り立つのか。

→地区のまちづくりについても、地区防災についても、話をしている。

○十分な話し合いを、地域の住民が納得できるような、公な形で話を進めていってもらいたい。一方的に決められたというような禍根を残すようにはしてほしくない。まちづくり協議会があるので親だけでなく、理事たちも踏まえて話を進めてもらいたい。

○部活動のすり合わせはどうか。三中にない部活の子どもたちはどうなるか。

→部活動のすり合わせについての質問は、考える会でも出てきた。学校側も異なる部活動があるのは承知している。同じ部活を継続できるように、準備期間に対応をしていく必要がある。

○距離が遠いことについて、何らかの方法で早く登校できるようにしてほしい。通学時間がかなり長くなることに関しての保証やケアはあるのか。

→考える会でも話は出たが、話はまだ詰めていない。自転車通学を認めるなど対策は考えていく。学校とも協力し、子どもたちのケアを進めるとともに、学校も支えていきたいと教育委員会では考え

ている。

○東中がなくなるとするならば、東中の校舎はどのように扱っていくのか。

→残された施設は地域の財産なので有効に活用できるように、市が一方的に決めるのではなく、まちづくり協議会や、地域の要望を聞きながら上手に活用できるように検討していく。

○三中と須津中までの距離を考えると、須津中の方が近いので須津中に通うことは可能か。

→地区ごとに学区が決まっているので、実寸の距離で決めていない。市全体で町内によって学校が決まっている。近いからという理由では難しい。

○指定校変更等の特例措置を親の仕事等と関わらずにできないかという質問に対して、現在は無理とのことだったが、検討がされたのか。

→指定校変更について、考える会でも話が出ている。同じ意見をもっているのもので、そのような考えの方もいるとのことなので、できる、できない、できないならその理由を回答できるように検討させていただきたい。

○令和5年に中学校3年生になる場合、3年時に吉原三中に行くのはとても不安である。東中で生活してきてあと1年で吉原三中に行き、受験をするのが不安である。

→子どもたちが不安に思う気持ちはよくわかる。子どもたちの不安が少しでも解消できるように教育委員会としてはどのような策ができるか、考えていく。

○小学6年の子どもの場合、2年後に三中に行くのなら、入学時から吉原三中に行くことは可能か。

→そのような意見にも真摯に対応できるように、柔軟に対応できるように考えている。

○この話し合いは保護者と地域の方が聞いているが、当事者の子どもたちの意見を聞いたり、話し合ったりする機会はあるのか。子どもたちも意見したいとのことだったので検討していただきたい。

→今のところ設けていないが、今後、検討していく。

○今後も吉永各地区でこのような会が開かれると思うが、出た意見を共有化したい。そのような機会は設けてもらえるか。

→富士市のウェブサイトにも、個人を特定できない形で掲載していく。